

## 底堅い動き維持する海外旅行市場 モノづくりの地域特性も下支え

高西善一郎 中部支部長  
(株)日本旅行・中部営業本部長

日本を代表する世界的な自動車メーカーであるトヨタをはじめ、モノづくりで知られる中京圏。JATA中部支部では、若年層市場の活性化、社会貢献活動や人材確保など、地域特性を踏まえた積極的な活動を展開しています。高西支部長にお話をうかがいました。

### 伸び目立つ東南アジア方面

Q 中部地域における海外旅行動向について、お聞かせください。

高西支部長 中部国際空港からの出国者数をみると、2012年は167万3745人を記録して、対前年で103・6%、対前々年でも102%という結果となり、東日本大震災が発生する以前の水準まで回復しています。2012年には中国や韓国との外交問題な



高西善一郎 中部支部長

どもあり、懸念される状況でしたけれども、それほど大きな影響は出なかったようです。

具体的に国・地域別では、中国が前年比5・2%減、台湾が同2・8%減でマイナスとなりましたが、逆に、韓国は10月以降、前

年割れしたものの7・5%増とプラスを維持しました。さらに、東南アジア各国の伸びが目立っており、タイが16・2%増、ベトナムが9・9%増、シンガポールが6・1%増、フィリピンが2・0%増などとなっています。

Q 東南アジアが好調な理由は何かでしょうか。

高西支部長 それぞれの国々で急速に経済が成長しているというところもあるでしょうし、モノづくりの中京圏ならではの特性も指摘できるかもしれません。トヨタ

をはじめとする多くのメーカーが中京圏には存在しており、視察を含めた法人需要が堅調に推移していることも、漸増ではありますけれども、2010年からの右肩上がりを下支える形となっています。

また、海外進出を視野に入れているメーカーが、今後の急成長が見込まれる東南アジアへの視察を繰り返すケースも珍しくなく、そのまま純粋な観光需要に結び付くわけではありませんけれども、

将来のインバウンドも含めたツーウェイリズムへの道筋を開くような動きへ着実につながっていくだろうと期待しています。

### 若年層の掘り起こしも推進

Q 海外旅行市場の拡大に向けて、若年層マーケットの活性化が

全国的な課題となっています。

高西支部長 中部支部では、愛知・岐阜・三重の3県と名古屋

市、名古屋商工会議所、中部経済連合会、中部国際空港などで構成する中部国際空港利用促進協議会と協力し、若年層の海外旅行促進を図るため、18〜29歳を対象に

「海外旅行での印象的な体験」を写真とコメントで募集する「ワールドリポートコンテスト」を、昨年12月から3月末までの期間で実施しており、今後も需要促進のため全面的に協力させていただきたいと考えています。

Q JATA中部支部では、早くから社会貢献活動にも取り組んできておられます。

高西支部長 もともと1990年代後半から、三重県にある児童養護施設の子どもたちを、スペイン村や長島温泉など県内の観光地へ招待していたことがベースであり、2000年代に入ってから

は、熊野古道が国の史跡に指定され、「世界文化遺産」への登録準備なども進められるようになる中で、清掃ハイイクなども実施するようになりました。

います。福井地区委員会では8年ほど前から、県内の海水浴場や遺跡、温泉街などを中心に清掃活動がスタートし、愛知県でも2010年から2年続けて香風溪で清掃活動を行った後、昨年も半田市街で清掃活動を実施しました。参加者からも好評で「こういう活動は、ぜひ続けて欲しい」との要望を沢山いただいています。

Q 旅行業界で働く人材の確保という面では如何ですか。

高西支部長 昨年11月に、愛知県産業労働部就業促進課主催の「業界説明会」に協力・参加しました。県による若者就労ミスマッチ解消支援事業として実施されたのですが、若年層の就業率改善を図る行政側と、優秀な人材を集めて離職率も低下させたい業界の意向とがぴったりと重なりました。流通業界など他業種との合同説明会でしたが、来年度も、ぜひ、今年度を実施した「企業マッチングセミナー」（愛知労働局主催）とともに同様の取り組みを行ってきたいと考えています。

中部支部としては、地域の活性化に向け、中部運輸局や中部広域観光推進機構、自治体と意欲的に連携し、活動したいと考えています。

